



美人名録
五編

5
4272
5



5
4272
5

萬家人名錄五編

浪華

柿耶丸長齋輯

同

白雀園米彥校



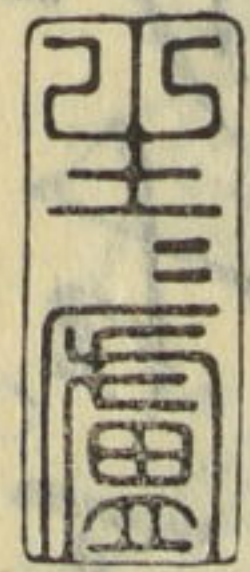
焦以弱末生以前。以俳歌屬
滑枕音。避三舍於詩與國
款者久矣。然為其詩國款
也。時過而情鏤。情鏤而辭
暢。至其為物也。性靈所注
無有二途焉。凡摸象鑄情。

巧不巧。腐不腐者。乃可與
語。佻而已矣。蕉翁自洗滌
天下之醜。而後競美於詩
公國款。可謂不朽之盛事。
日出國。無處弗稱德。噫
偉哉。方片言。佻者。無隨

波逐浪之弊。不泥古。不偏
今。采沙中金。悉蚌中珠。
一面正風。優遊自在。換却
凡骨者。不為不夥焉。雖然
東奧西筑。若洞石不識。其
為那般之人者。亦皆然矣。

這編一出國。印扶桑六十
 身州之仙家。姓名居處如
 指諸掌。可謂長來雙雅之
 老婆心。在矣。惠矣。

浪華東生先生瑞馬識



長等山下
 号敲月居

千影

長
 等

法
 家

之
 影

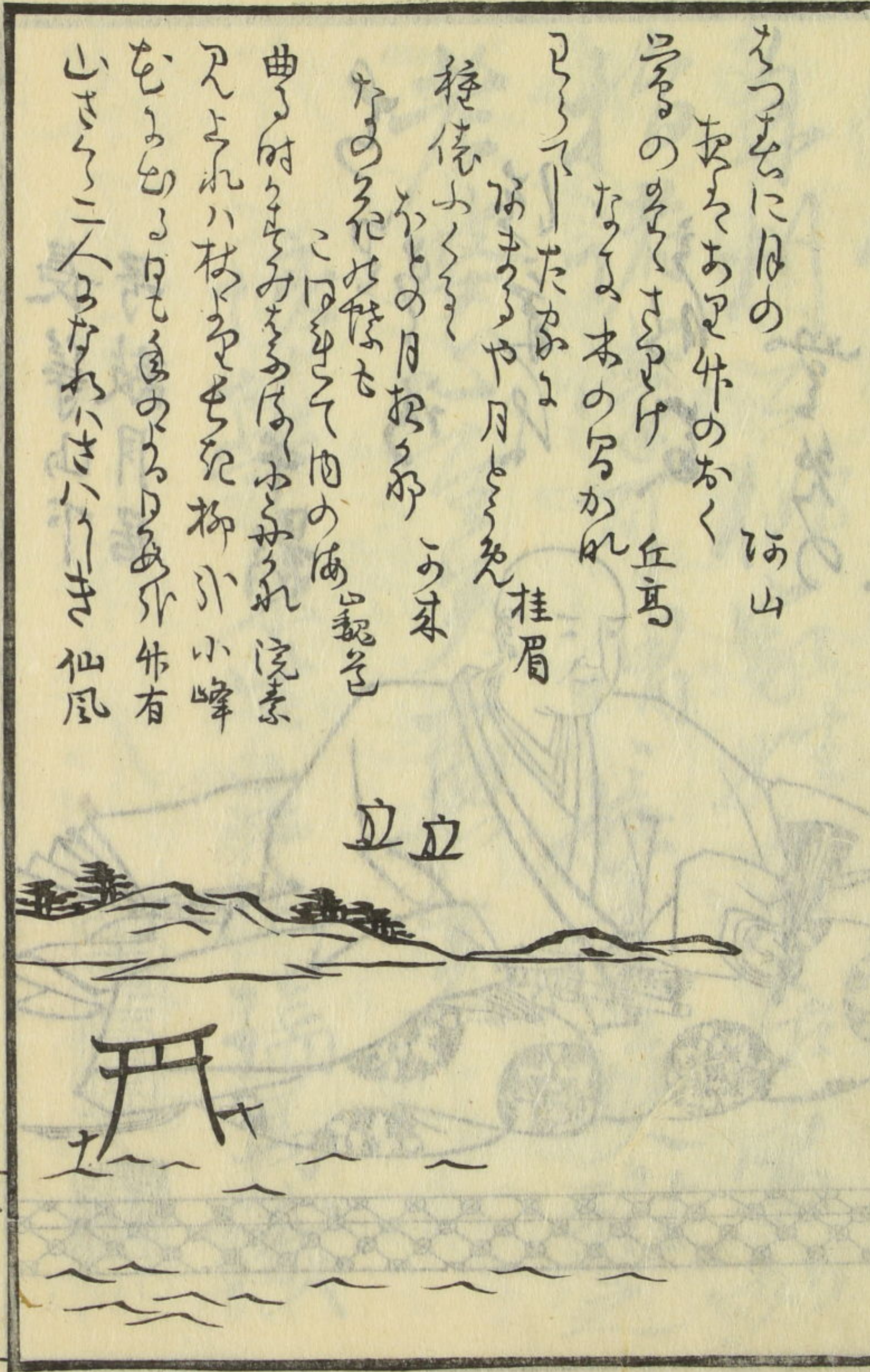
等
 之
 影

每



三輪お祓島東生異図

旭江道人
印



さつをに月の
あまあま牛のおく
三輪のさつとさげ 丘高
こころのたかたか
桂眉
あまの月おろす
あま
たのたかたか
こころのたかたか
曲のたかたか
えとれハたかたか
むとれハたかたか
いさく二人はたかたか



さつをに月の
あまあま牛のおく
三輪のさつとさげ 丘高
こころのたかたか
桂眉
あまの月おろす
あま
たのたかたか
こころのたかたか
曲のたかたか
えとれハたかたか
むとれハたかたか
いさく二人はたかたか

阿山

秋氏出羽秋田郡赤石村隱士

丘高

篠氏号木枯菴又神風館稱司馬勢州山田丁木町

可来

羽州秋田侯藩中武田氏号公齋

巍道

丹后官津人俗稱綿屋万助

浣素

奥州南部花牧人俗稱丸屋新輔

竹有

号大雀菴住于尾州名古屋菜名町一丁目

仙風

羽州秋田人來在于江州義仲寺

虎杖

号天燒信州善光寺人

旦

号夫木菴居于東都

一之

頃田氏稱如俊業医信州伊那郡人

鹿古

淺野氏加賀金沢人

雀子

羽州秋田郡大館士俗稱飯村兵吉

空阿

浪華人住于京空也坐利清庵後遊四方

少女

号花癖住于尾州名古屋常瑞寺

倉和

羽州秋田人野松門人

平齋

俗稱國枝加兵衛居尾州名古屋丹丘赤塚町

桂眉

服部氏字勝七号薄暮齋居于京三条通御幸町

舍律

播州魚崎人俗稱酒屋伍兵衛

草美

秋野氏字八郎治甲州八代郡今井村人

露秀

陸奥郡山人号謙齋又号不孤園文化四丁卯三月没

一音

加賀人

白居

陸奥仙臺人号文芝坊寛政年中没

太祇

号不夜城京師人明和八年卯年没

紀鳳

尾州名古屋人曉臺門人寛政十一己未正月没

舍朴

号竹林亭惠田氏稱佐仲居于武州巖王郡木曾根村

麥雨

上総國長柄郡人

小峯

秋氏号出塵舍住于武州葛飾郡一御半領彦沢村悲願山田願寺

空阿

燕村門人号瓢單房

日喜此

和の字

白陽樓

晴月屋



常見氏号免齋又向陽樓俗稱藤左工門世住攝津州兵庫小物屋街

霞亭寫真圖

安達氏号夜半亭又蓬
 中螺舍俗称吉右工門
 家于浪華備後町四丁
 目三世夜半亭



吾も白々
 东うあて
 伊勢乃海
 文頂

山崎文楽五
 平山道十超奥南時八
 津路八言三幸終新録

工藤氏号是膠齋俗籍
 庄左工門羽州秋田侯
 藩中



冬三月
 又了者
 ちいさ
 けし
 松

山崎文楽五
 平山道十超奥南時八
 津路八言三幸終新録

中野寺
安野八号

猪子乃片也

もけゆる

喜白か那

寛永

松橋氏号三峯館俗稱
宇助家于陸奥南部八
戸南部侯家臣



千計州
藍録高木

之川秋也

神月

そつた

于一

姓中村名守富号一道
又竹窓通稱須賀美雲
州大社祠官



姓竹田号此君亭俗稱
武助浪華高麗橋三丁
目住人

奥山入...
斎藤...
真...

十月廿

如...

松...

三乃...

桃...



通稱高木佐太郎世住
于信州伊那郡御子柴
邸

中...

...

水...

...

...

雀羽



楨氏号嵩臺俗稱兵太郎
 住于出羽州最上川
 頭谷池

あすは
 のを
 さ
 へ
 へ
 へ

龜年



嘉輔姓安井字汝亨号
 雀雅亭又映山又称竹
 叟山人家在于浪華天
 神橋北側製臘脂

壬申秋春
 花の山
 輔

萬葉歌集進徳過橋
 脚堂陶然齋
 景高集夕陽佳
 雀雅安映山



自画

袖扇子 山曉

夕日乃

栞見か

栞見か

姓池上号薩曼館通称
橘屋平助東都中橋上
槇町人



郊外晚歸



寒霄偶過水西陂樹
上回風帶雪吹記得
春未澗月夜村人為
我折花枝

角鹿秀

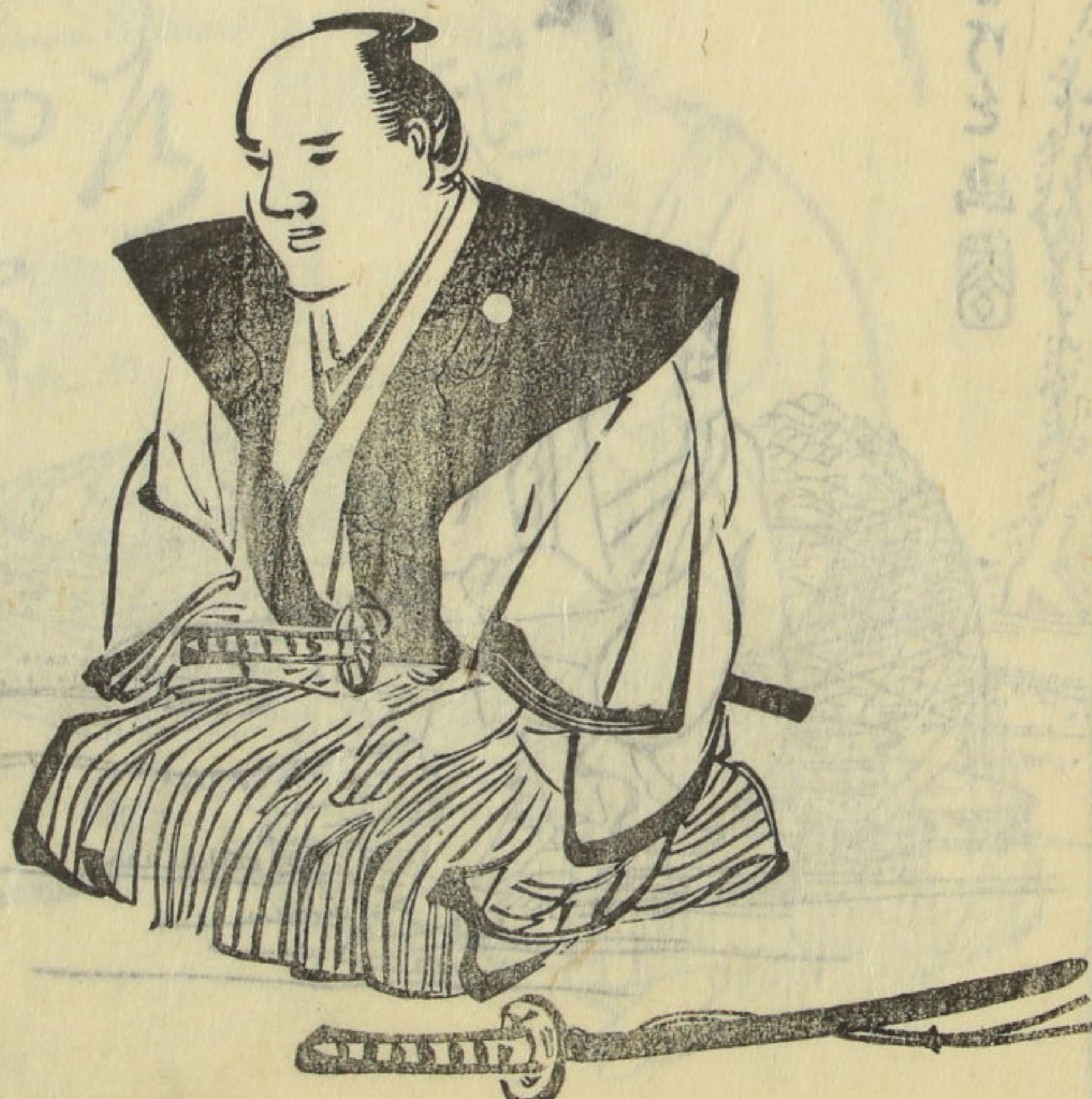


あゝかまなまよ

あゝかまなまよ

庭の苔

柳窠



姓角鹿名秀字子実又
挑窠号玄都又夢坡子
又青李菴通称潜蔵住
于京一条通千本東江
入街

沢氏名守安号觴凉亭
 俗稱五兵衛事農業世
 住于安藝國能美島小
 古江村



心まき
 七之巻
 本心、記寸
 南強

万乃と画(天)

姓田中号寛丸齋通称
 猪介東都神田鍋町人



楽
 音
 未
 知

玉光

通稱園部理馬太浪卷
 今橋二丁目住人身重
 百七十斤

るき乃
 ちんば
 葉河をせ
 了丸



橋の香の
 あつはるせ
 ゆく
 小ころかき
 鈴紅亭
 加勢江

姓長満名道貫祿權右
 工門備後國世良郡吉
 原邑之人世々農家也
 前山之頂丈余之大石
 並立

姓栢木彌拾果亭通称
 齋屋源三郎住于播州
 赤石東本街

うさばはら
 松うらなれ
 なたろの
 つくまら
 三省



映
 意
 雨

逸見氏東播赤浦人



あまの
 おま
 梅
 4
 堂

映
 意
 雨

姓藤江號如臍通稱篠
屋喜右工門住于平安
糸屋町

余は西平町にその名を稱す
子全形とてしるす子ありて
受や心出さるるを存し居る
負ひ日工をも工味い吹ハるハ
リ一足ハ十五字をあらハ二振
とんくしちたをこれと
あしむをいきねえ
ねえをいねえとて
あしむをいねえとて
あしむをいねえとて

わげもたつらり
おろしやと
おろしやと

おろしや
おろしや



糸つとむ乃

糸つとむ乃

糸つとむ乃

糸つとむ乃

糸つとむ乃



津田氏俗稱吉左工門
住于越前國丸岡

河角氏号七杉堂俗稱
土佐屋吉兵衛家子浪
華輕座

早之譜

十是之先
もは人支
来

友人
賀子健謹寫



室氏俗稱市右工門住
于越后州高田成社

左琴

又て来て
柳



岡内子十郎
芝谷

ははるるに

ちいや

ふろ

よの心

あち

岡氏稱弥三次住于但
馬州芝谷



芝谷の岡氏稱弥

ふみ

まの心

な

まふ

万葉

荒木氏俗称六兵衛住
于丹后州宮津



宮津

鶴見氏俗稱源次郎世
住于三河國碧海郡小
坂江邨

なみのあか

せきま

えらま

新の松

東投



新氏尾州名古屋人來
在于浪華難波村證點
菴

ゆきま

みよあ

あ

たの

由野



阿部氏俗稱慶八郎上
毛大原人

いささの

くはや

いりまこ

まきつら

茅磨



波風

おろ

つる

心

三井乃

結

朴哉



岡崎氏俗稱清七上毛
大原人

長門州赤馬関住人俗
稱油屋仁左工門

ゆきまのり
あまのり

さく

瓜の
ぼろ

お風



長門州赤馬関住人俗
稱油屋仁左工門

牛飼ふる一里

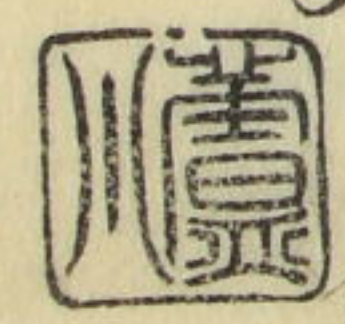
来にふあ喜

能子

若川

赤城

い美河



鳥飼氏俗称五郎右衛門
播州赤浦水谷住

岡野氏俗称吉郎兵衛
泉州左海人



子子ハ
津のあま時
あま
なま

尊月

目賀多氏俗称兵左門
号探瓢亭住于奥州津
軽弘前



月とほつて
つとく
ほろし
あま
あま
あま

姓源部坂氏号東明堂
周防國白松岐波村人

我知

こゝろいこゝろ
かゝる

あゝあゝ

まゝ



洛東摩訶文字山下隱
民堀氏枯魚同盟之一
人

湖のくまを 仙芝

あゝあゝ
梅の丸



三枝氏俗称十郎平世
住于播州加西酒見北
条本町



万栢通称植屋平次郎
平安柳馬場三条下町



中村師本浪速人姓藤氏名玄字子機号南山翁
 亦号蟻磨庵字涉獵倭漢蘭客遊無所不至遂
 家于里浦業医与頃應長齋君需寄一章予
 詰附教字他日使人莫不審其名之憾門人某誌

注时法第子のみ多し古来文書
 此より何處し人何れも書きたり
 又の支那の書と世に傳へる
 也此の書も之の何れに別
 也此の書も之の何れに別

其意其仁也

眼の付くりんと

四十一の巻

其碩



あり松尾井氏々々の村氏を
 稱して名をたて業として
 又の支那の書と世に傳へる
 也此の書も之の何れに別
 也此の書も之の何れに別
 名重勝字文龍

おにりに

三尺の剣

おまはち

如柳



予の世の業をなす
 医技を傳ふるに
 一のたう 花ののり
 かんてりてのちりし
 風体をぬむも止る
 さはハたうの甚
 とつふもをこか
 妻の氏名をえ
 浦の信守

生々
 無逸

花の梅

人のまぬ

日此のふらふ



花の梅

人のまぬ

日此のふらふ

泉男
 女石

姓平野村氏名草恭字
 見龍号浅井軒泉南塚
 人



奥田氏号定軒俗称伊
兵衛势州洞津藩中

ゆゑに
はかばか
さしつか
し



佐伯氏名環势州洞津
侯藩臣

三
し
わ
は
は
は
三
子
圃



田中氏号水蘆亭俗称
 应介住于浪華江戸堀
 第五街

花唱
 新
 前



平田氏肥前長崎人

山崎八
 祥衣



小枝氏名壽泉住于浪
荅江戸堀第五街

心々々々

根ハハハ

カカカ

マママ

シシシ



中
蘇中因州直取蘇
蘇木乃号忌斷事於蘇

マママ

カカカ

シシシ

ハハハ

コココ

シシシ

ハハハ



釈氏住羽州秋田城下
曹洞派玄心寺

菅原公定公帝
藤原新藤原公成

村々

おはなふ

おはなふ

おはなふ

おはなふ

おはなふ

中
荒木氏号忘帰亭俗称
藤市郎因州鳥取彦藩



大川秋の

おを試す

おを

南嶽



筒見氏俗称糸屋平兵衛
因州鳥取人

俗稱讚岐屋又右工門
因州若櫻人

まきるは

まきるは

まきるは

松の風

浅摺



いままそののちをゆるぎなく
申しつゝあはれなきのさけらぬ
吉叟

新造茶室扁曰小
壺天因賦一律

小屋無塵雜聊言謝
世緣挿花思野鳩淪
茗擬丹泉時抱方爐
臥或憑曲柱眠幽居
真有趣是我小壺天



吉叟姓行本名充茂一名宗隆字子虔号漆園
又稱雨蝸狂叟或老蠹主人住浪華北久寶寺
第二街平生所嗜和歌俳諧暇則會茶友

但馬州二方郡千原村
和泉屋久良之助



玉英
印

和泉屋

久良之助

和泉屋

和泉屋

丹州龜山侯藩中姓輕森
号半月亭又半仙庵又水
枕俗称代右衛門住于丹
州龜山

和泉屋

野楊

あまの風

かほ

かほ

かほ



丹州龜山侯藩中姓輕森
号半月亭又半仙庵又水
枕俗称代右衛門住于丹
州龜山

播州三木住人俗称道具屋善七



又々
 子
 出は
 川さけ
 又日也

計取入御前高島徳四郎

但馬出石侯藩中俗稱横山弥三左王門



又々
 子
 出は
 川さけ
 又日也

稻垣氏俗稱島屋勘四郎
越中州富山住人

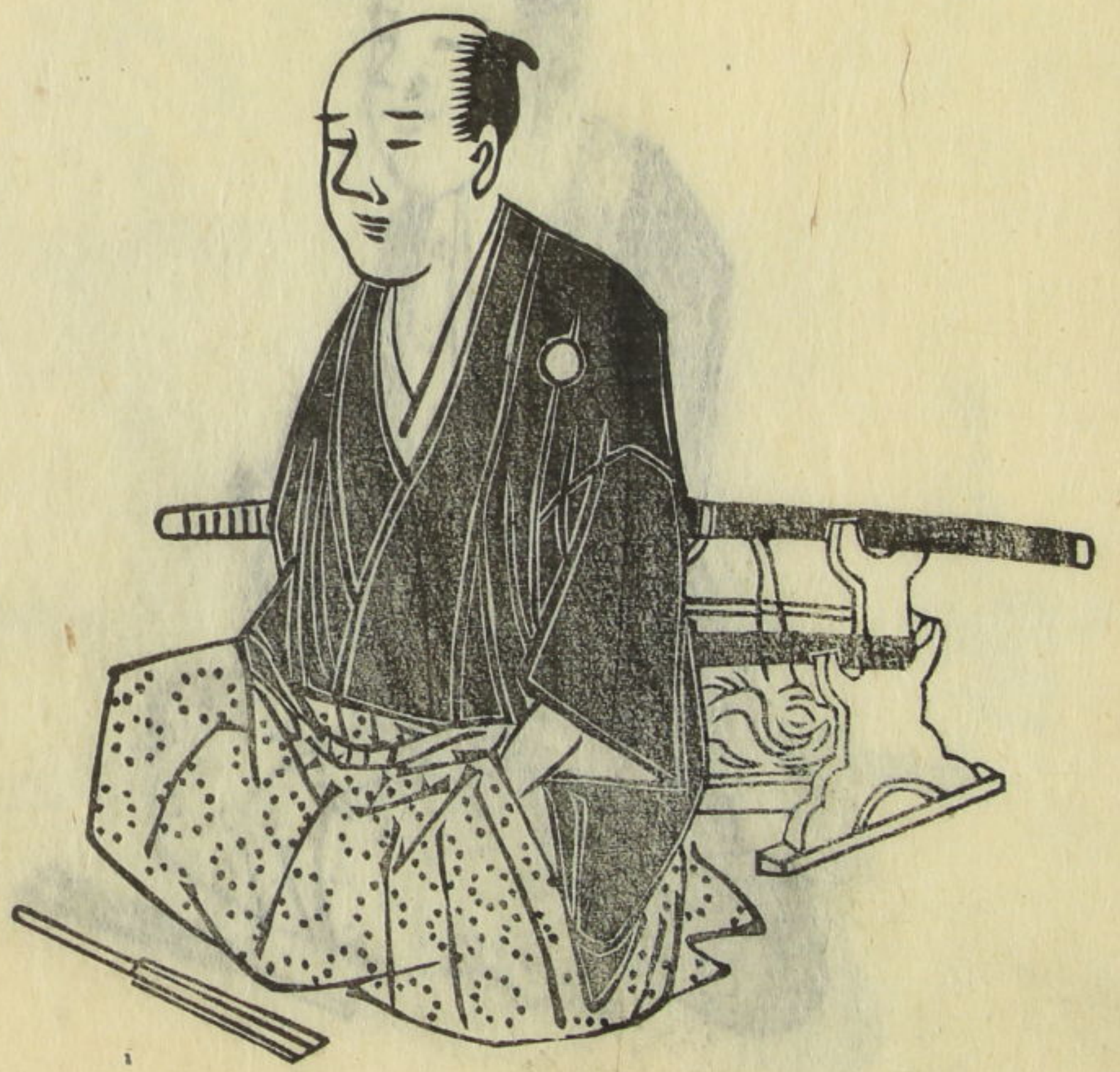
信
信
信

神
神

大
大

大
大

梅
高



入
入
入

身
身

入
入

入
入

恒
丸



姓名泉名一字太寧号葛齋奥州
三春人移住干下總國左原葛齋
菴文化七庚午九月十四日卒亨
年六十法号天寧得一居士

熊耳氏奥州三春
人移居于下總左
原葛齋菴恒丸室

人
喜の目尾

西月子

さしあはせ

かま



多産

あこよ

たろや

おのおの

たろや



篠瀬氏号竹梁越中
山人来在京師蒼乳
門人

喜乃あはれ
史をらんが
はまのかひみ
もあそ

喜峰

原口氏俗称十太夫淡
路大榎並人



認めを

たうあてる

たう

たひぬ

かれ

寒屋



號冥々妙々庵能登間
脇人文化七年庚午十
月廿四日卒

御官服職姓長谷川号
光風舍俗称久左衛門
住于京室町通中長者
町

和の山或戸八百年のほろ
は晴くよそ持

枉余粟布老元

里洋

まのつまふらうき調々

与屋之匠

八百抄んのいふ人

京油小路三條辺中路氏
名直方俗称嘉兵衛

紫のさの
いふとこま
吹きまぬ
一あ

蓮のまや
右郷
ちりま
風り



子静

洛南三峯麓浄安寺澄譽上人

嘯月

秀里

丹羽川關八木喜兵衛筆
興今二條城東石山氏偶
河内三日市僧義天在京

沙之里
何くも
我ひ
おうけや
横ふ
まの
まの

嘯月



美馬氏名昭美通稱
大文字屋善助平安
一條小川東街住人

沙路

沙路
か
さ



攝津國佐々木祐見黨洛南稻荷住石村
 氏子名秀俊俗稱平兵衛京二條通小川
 西皆山氏十餘年偶

人乃
 秀祇

すまぢり
 山家の



姓加藤雲刃廣瀬侯
 藩中

あまに

松の

白小家

か

舟



秦氏稱芳助淡路下八
太人



鳥秋

松花
てお

松花
てお

目 姓安藤名安貞号緑々
齋俗稱近江屋武兵衛
住于浪華立賣堀四丁

のやあ
もれとなる
目お
士竹



子健寫

いろのあはれ
 そけいなるま
 又ゆきとあそ
 ちりり

花櫓



舟越氏称典左工門淡路島井人

双山窟

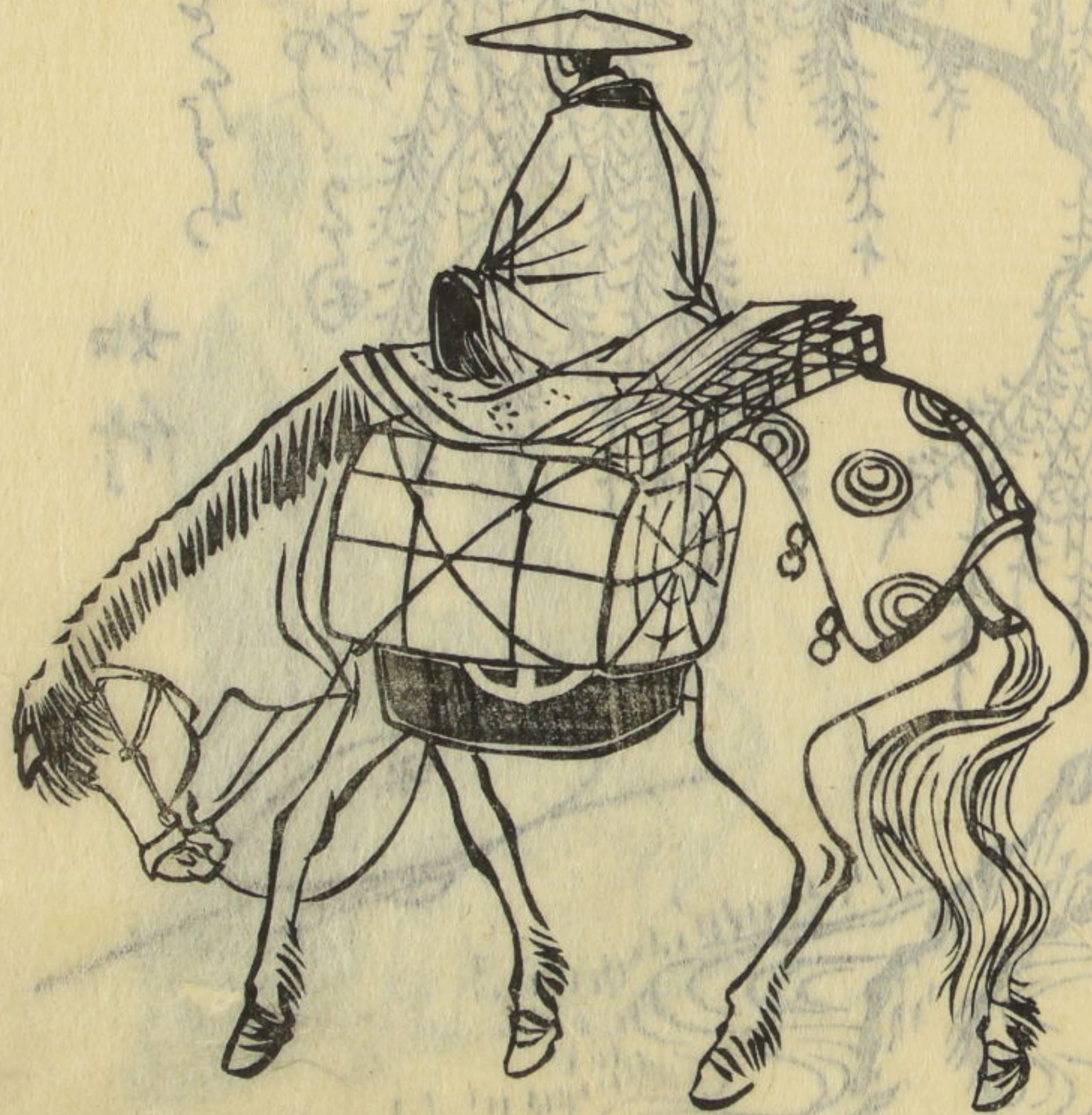
日光よ照て、
あつらふすまら
ま

後こなたす

まはんと

せしめ

梅の花



姪村上名章博俗称三
 兵衛石見邑智郡窟村
 産后移住于備後三次
 郡川立村

姓小亀名孝業京都之人

しほりけをまきなり

かきく柳(しほり)

如竹



下時高貴言世山古開
坐山風直入世奉財新
外曾孝業只願華謝
不崎丸号奇間

入田

しほの上

しほ

芝かえの

石の

淡路湊村人俗称綿屋
庄兵衛



末弘氏号安間窟俗称
 伊作管学篆刀浪華幅
 堂石鹿道人世家伊豫
 宇和島愛宕町上右側

石見

石見

石見

石見

石見



石見
 石見
 石見

横切

横切

横切

横切

横切

横切



遠江州濱松駅住人俗
 稱鈴木傳十郎

五山詩話卷之十

河野の

花

うづら

波

赫

釈氏号孤月房住持干
豊後州別府西法寺



林下明光翁干
法印公

新

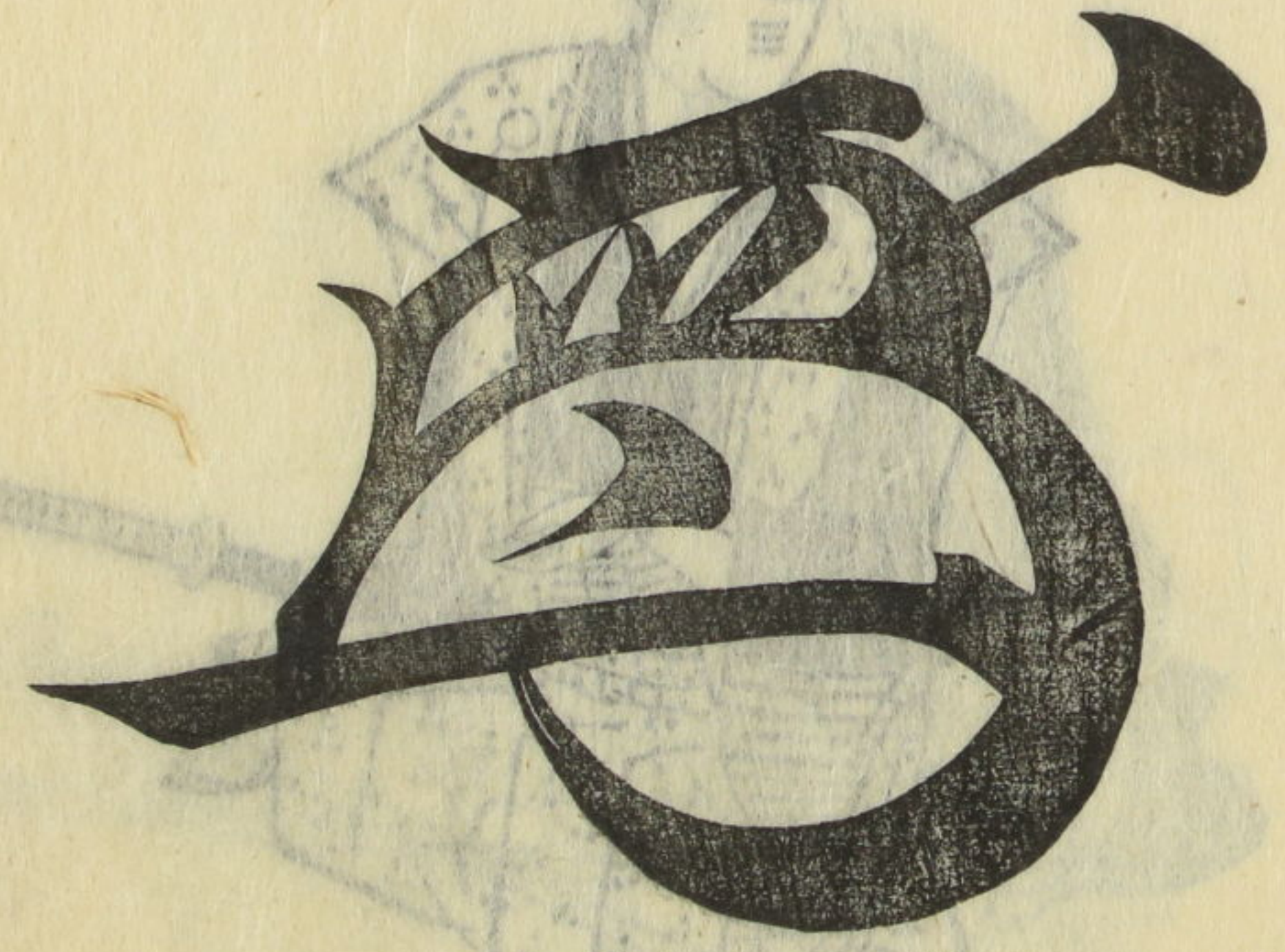
志

心

十日

十

撰西成人姓淺田名公
彝字叔倫号葆光寺俳
諧号蓼々下



紀伊公地士笠井氏俗
称七郎兵衛住于势南
一志郡新屋之庄

子亮の

凍つたよ

きお

お

乃夢

霞層



乃乃山
乃乃山
乃乃山
乃乃山

乃乃山

乃乃山

乃乃山

乃乃山

小濱氏号嶋室俗称吉
右正門伊势州一志郡
川北村御民



今井氏伊勢香良神社
 祠官藤原朝臣

子乃戸尔
 雲も
 ちんちん
 花
 桂



藤堂侯地士田上氏名
 光利号翠竹菴俗称八
 太夫住于势州一志郡
 八太駅

浪松
 志
 波色
 なる
 加



紀藩臣前野氏號紅漆園俗稱六兵衛居于勢州一志郡小川里

杜子 水子

ちんまね

たけえ

かま

右子



六兵衛門前野氏
紅漆園
霍基

字たねと

月名

又のり

部



洞津彦地士與田氏字
總右工門号豊楽園住
于勢州櫛田川湄桃林
裏

謀夫妻

掃
まきねん
相ねん
ちる
文か那



紀伊公地士前野氏字
六右衛門号芳齋住千
伊勢國一志郡小川里

伊勢の
謀夫
まきねん
ちる
文か那



勢陽寧一館地脈接松
 城嬉野兼忘井月花好
 適情紀伊公藩臣酒井
 氏字縫右工門住于伊
 勢国一志郡小川里

ちくはきあ

むーん

ま

し

魯奇



井左

ま

あ

ま

ま



井上氏俗稱廣島屋伊
 兵衛家于浪華南堀江
 二丁目

五味氏号竹樓俗稱六
郎左工門住于遠州今
切

世の
きり

あはれ

ぬき

あま

系古



尚主
尚甲仲休中殿
煉良曹剛所赫大煉味

世の
みち

心

役

心

玉枝

辨露滴齋平安人在于
甲府豎近習町俗稱近
江屋太兵衛



釈氏曹洞派稱大教和尚
尚甲州府中瑞岩禪院
現住

井くお和
きんこ

いほよる

いほよる

いほよる

不三乃

山



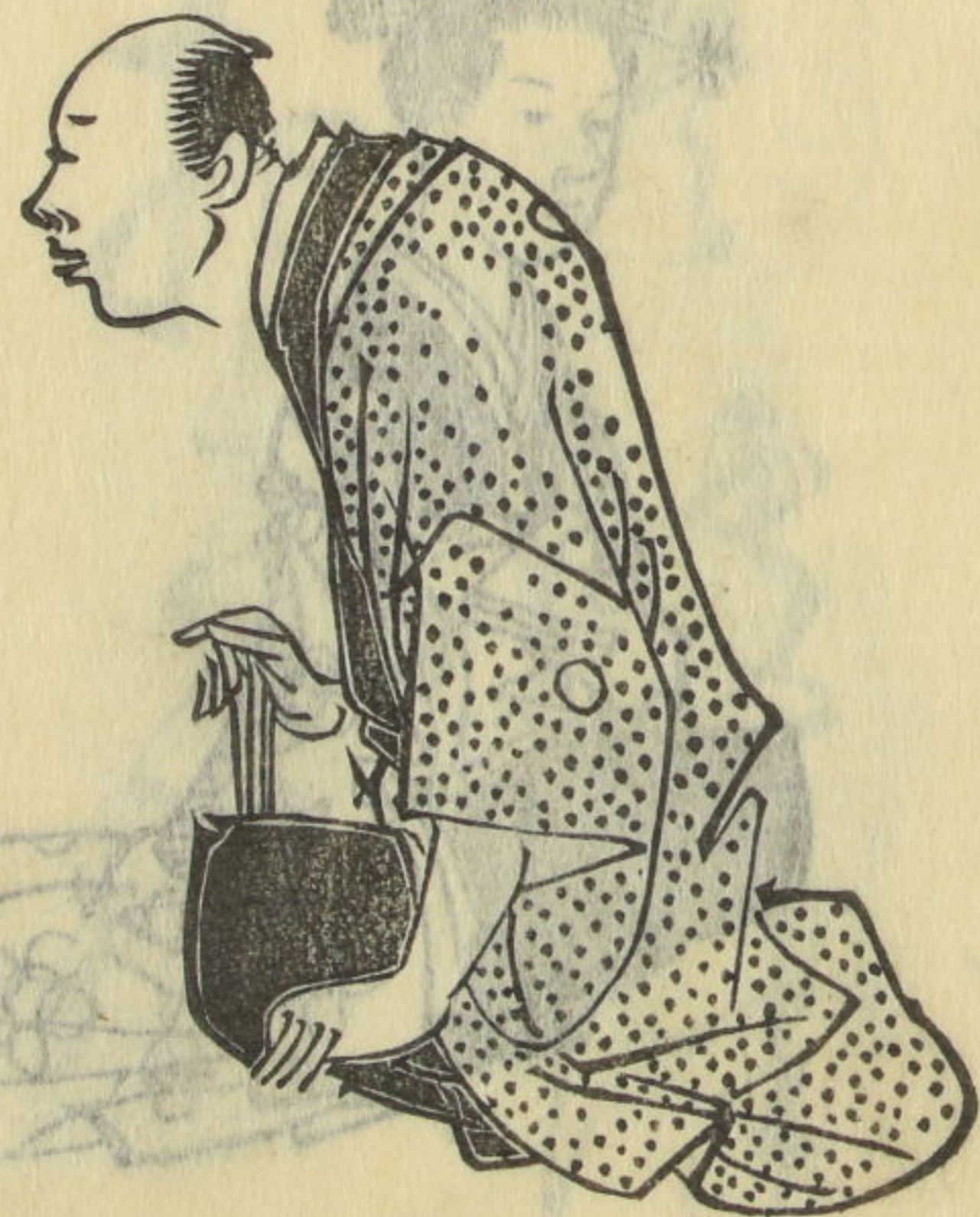
同平臥于蓋云國藤代
高林大寺宮芝園谷録

おくお目小
一猪
おとあ
汀か

棋原氏号洞裏園俗稱
新左衛門世住于遠州
濱名摩訶耶里



平松氏号白松園俗稱
弥左卫門世家干三河
國府



芝の好
きうけさなる
芝の門

高柙氏号
周平居于遠江國新所
里



月待

小松

あきせ

耕漁

高柙氏号雀芝園俗稱
周平居于遠江國新所
里

備前州岡山住小谷伯
駒少女小谷氏

おのゝけのよめ
拂うるたを
たのむるや
さはなむら

あのみ
蓮子



人辨重里予交雲備
越喜田川谷風新此本

乃乞能乃予
夕禮皇波付
雪得おの形

讃州高松侯藩中向井
淑慎字士臧一字栗洞
号収栗園通稱又市

栗洞
同我
西園

予幼蒙...
時...
...

おん人の子

いも

あか

浪

姓喜田川名庸脩浪蒼
人鵝雪男号交雲齋



...

老たらし
結み

あ

の春

奥州信夫郡土湯邑人
俗稱扇屋理右工門



かみかみ

あまの

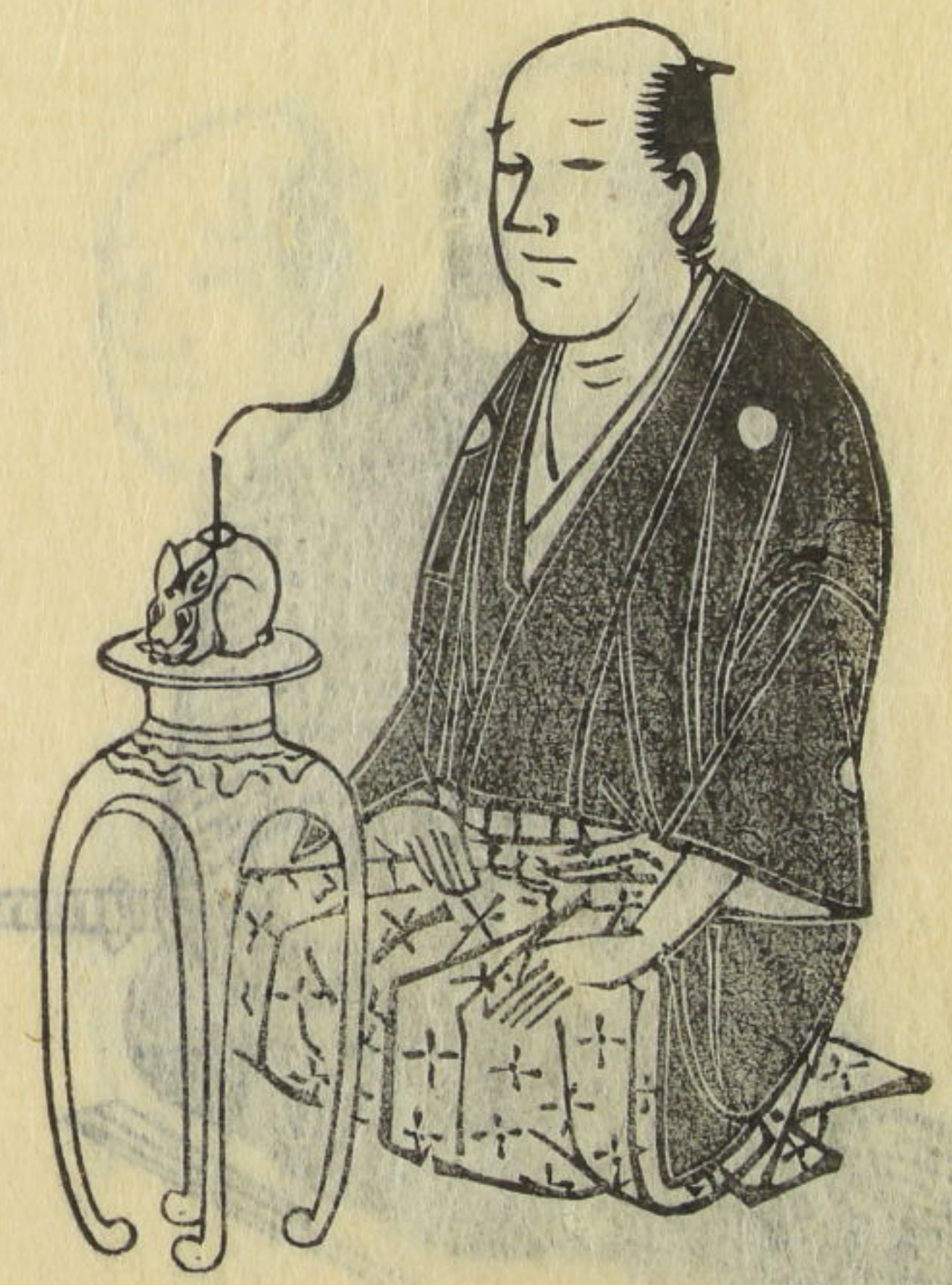
とら

科

かま

比千雄

小山氏俗称宗五郎号
蘭室又号松栄堂又号
蘭佳齋又号一山亭住
于浪華北久宝寺町二
丁目製法白線香以
為業嗜好俳諧常居遊
于天牛隱士之門



西遊

おの

おの

おの



浅野氏名為英俗称孫
七住于浪華舟越街

号交風舎俗称豊前屋
 彦右正門日向國白杵
 郡富高新町人姓青木

まろ柳二
 ゆ〜あは
 か〜あ
 月あは

甚思留



御手洗氏名壽信法名
 教信俗稱唯右工門日
 向州白杵郡平岩村御
 手洗虎吉父可龍軒

芦舟

子規

もろろ

あ〜あ

あ〜あ



梅仁親氏号密蔵亭住
 于武州寄玉郡八条領
 木曾根村大悲山普門
 寺
 湖竹俗稱相摸屋清左
 工門世住于武州葛飾
 郡二郷半領番匠免村



五七五七七
 和者二七五七七
 原在佛古寺より
 次幕加法きと
 秋五七七七

住 姓土肥名壽喬字甚吉
号修善亭壹岐國勝木



三千桂
大正九年四月

俗称近江屋喜兵衛居
于浪華生玉社烏居前



あさ風
あさ風
あさ風
あさ風

河野氏号洞海舍俗稱
新太郎住于常陸行方
郡帆津倉村

松と花と

あま

あま

あま

あま

李尺



河野氏号無為亭俗稱
新五郎住于常陸州行
方郡帆津倉村

あま

あま

あま

あま

あま



林氏稱飛驒家于下總
香取郡大角邑

了るに
すまは
雲乃
ある
一お
仙玉

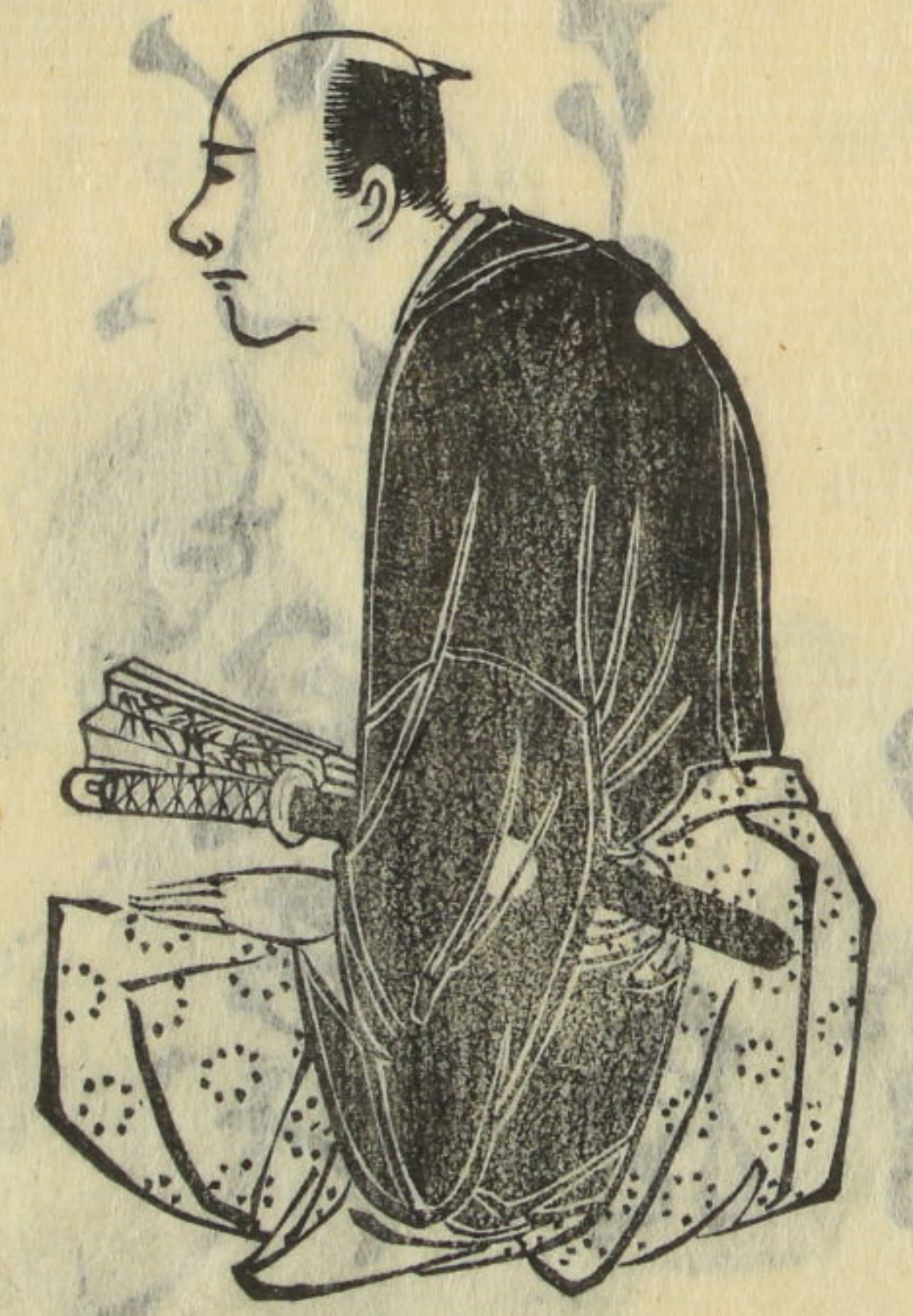


三
日
東
日
東
日
東

山寺乃

はり
この

紫朗



西村氏名慎敬字三不
惑号古松館俗称喜重
郎根乃系海人

姓前田氏名定斯号
日東菴通称万屋辰
三郎生得好箫撮陽
兔原郡灘住吉人

名月と

ふも君可代

ちよ水了控

南浦

三顧

乙

こころ

伐又

二月堂



釈氏号巢臼舎住于下
徳州香取郡大角村光
明寺

下德香取郡萬歳焚彦
 孔澤氏俗稱焚兵衛号
 松園



村井氏号鮫洲俗稱孫
 兵衛陸奥八之戸人



姓西村号櫻花亭俗稱
 依屋作兵衛京都御幸
 町通住人

おもしろ
 おもしろ
 風の
 柳の



渡辺氏字貫卿号東嶽
 俗稱治右工門奥州二
 本松侯藩士嘗好數學
 通物理為東都最上流
 會田自在先生之先鋒
 事詳於算法古今通覽
 名聲遍坂東云

西河
 武隈乃
 松之枯
 くらあ
 つねのみき



木村氏名近直俗稱
五兵衛号松菊齋皇
都二條城邊人

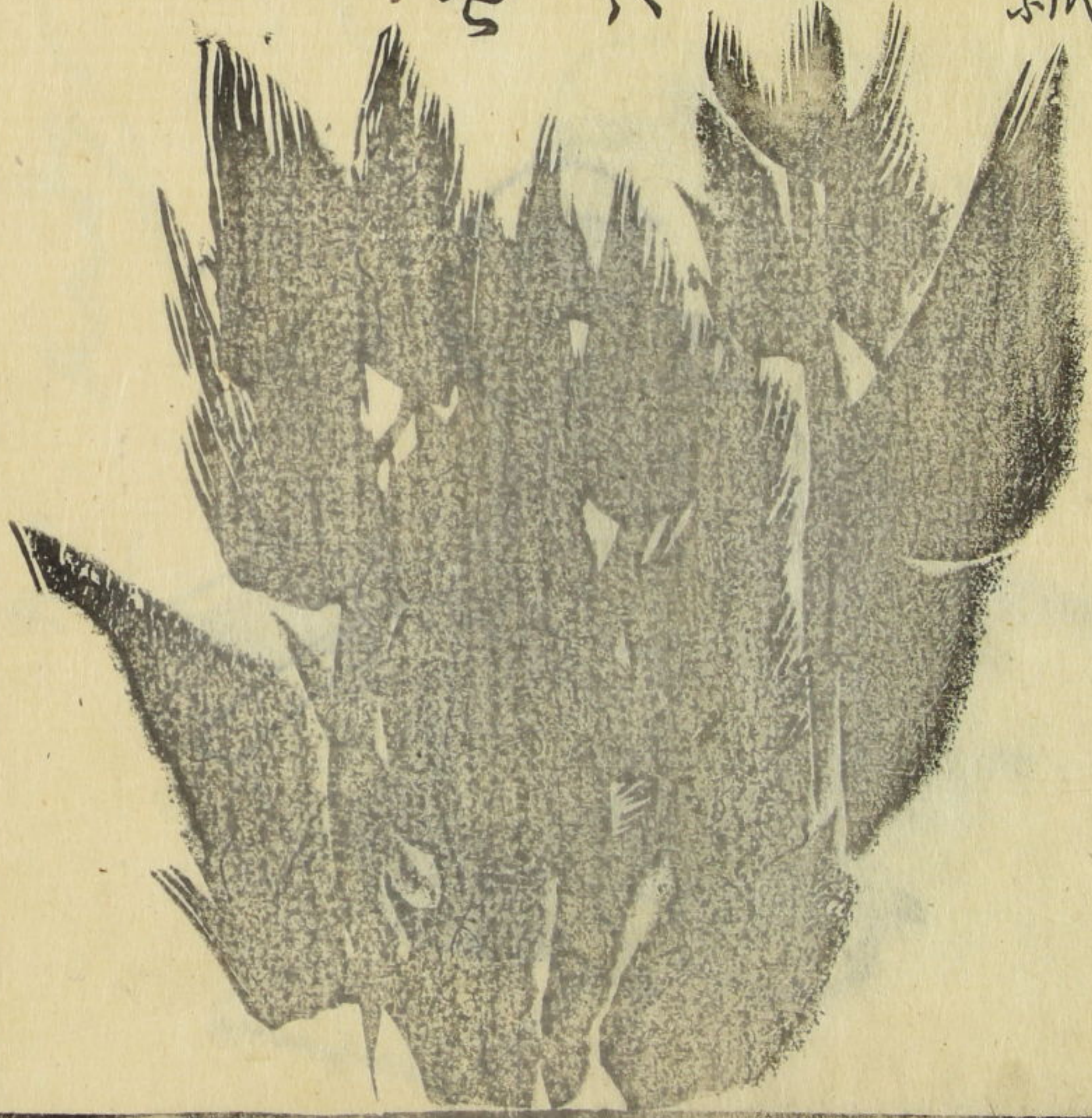
牙も
はきり
うり
あみ
山
か



文
承
初

西江高嶋森人

風
歌
夏世たらし
ま
は
あめめ



岸川洞石

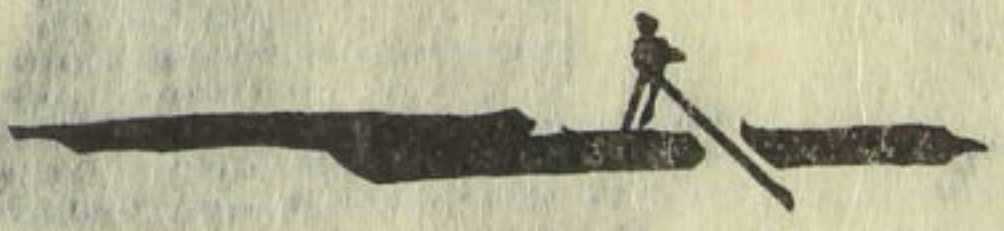
秀盛 川嶋氏号甘露亭 皇都住
 瑩子 川島室
 秀與 川号父龍舍皇都人
 秀俊 嶋石村氏号緑鴨亭
 社 伏水人
 義天 中河内三日市僧

花のつゆあふ
 ちのけし
 もとみ
 あはれ
 の名をも
 秀與

秀俊
 のはら
 虎のやまの
 名をた
 せ
 義天
 のま
 川虎の山
 の鳴る

秀盛
 の名にせふ
 名はら
 の虎
 のほく

瑩子
 の名はら
 の虎
 のほく



備後尾道住人通称亀山
 山松太郎辨如此江山
 亭

平安三劫界西卦

あをかきて
 星く一本の
 かきまらぬ

いかに



京から
 舞

美
 山
 松
 太郎

京
 松
 太郎
 辨
 此
 山



姓源芝氏名國忠
 称廣主播磨國廣
 嶺山社司

廣嶺山社司
 新傳百以亦舒廣國
 多到與中野王

廣主

古久尔、
 許
 西美古あわ
 己
 左々らあま



平安三條堀西住
 角野氏竹の家と号

書陸營

まがーは

おさ

のり

儿笑



芝陸奥守從五位下
源朝臣以忠播磨國
廣嶺山社司

三夫

浮舟

笑

あし

首



晋子坐正統

壺中葦

老仙

ち

は

あ

の

い



○西海對馬州人生食太門藤原唯一仕備之前州池田家

浪華壺中芥室播
姫井上氏之女

若生

八幡花の

ひりり

表ふり

お車返り月

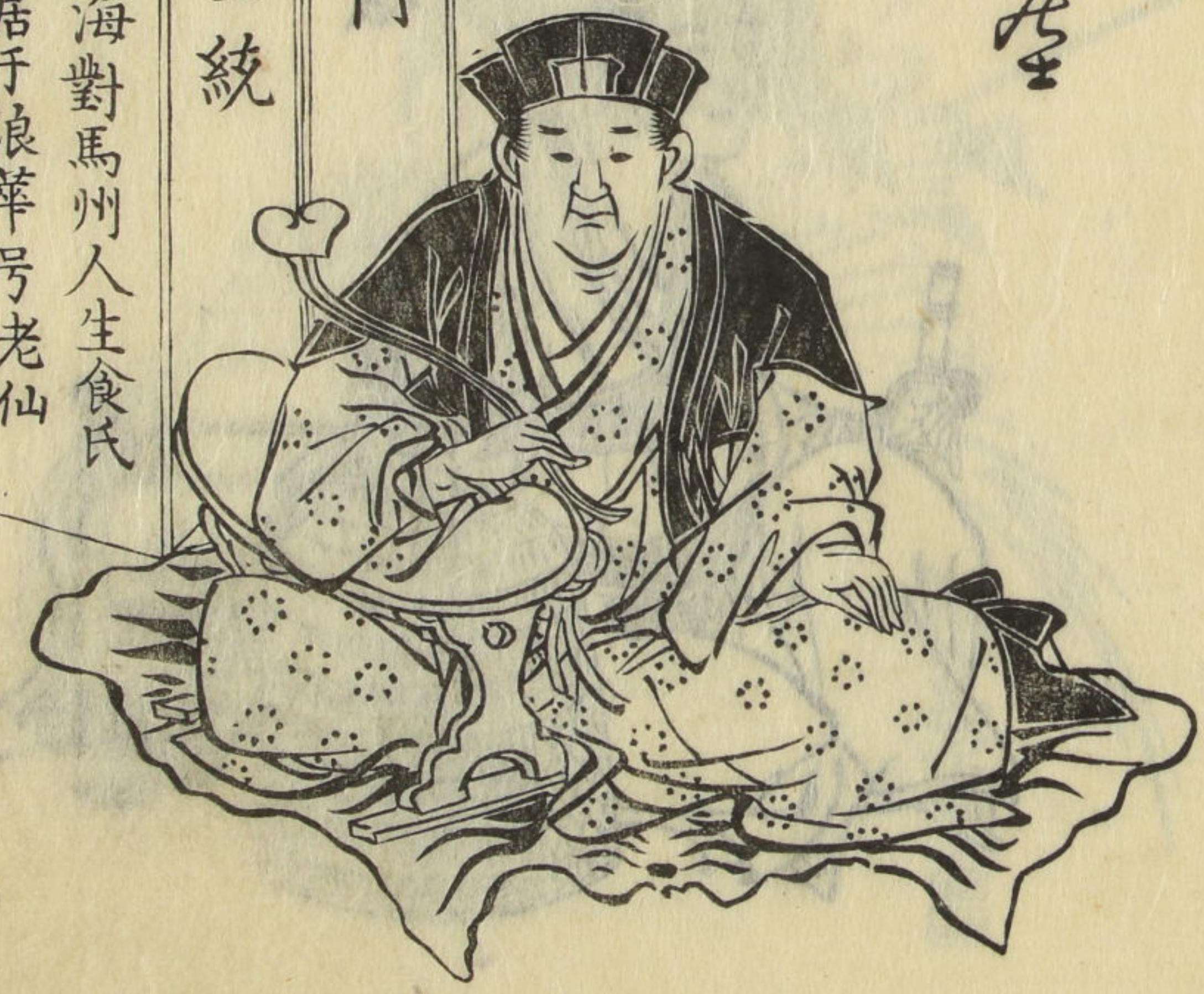


毎二菴に三花

名月おはる

あふゆき

ふりり



○蕉門

○正統

西海對馬州人生食氏
寓居于浪華号老仙

姓久保名一久号龍門
齋俗称太兵衛讚岐高
松人來住于浪華

松くわ

竹名
如慶

こまろくま

ものお

可登



賈天

牛抄

ゆらみの

るねる

えいね

かね



河津
陶

尾州名古屋本町十一町
目住人綿屋吉兵衛

姓源寺西氏名常之号
 曲江園俗稱善九郎尾
 州名古屋上宿人

以は啼く
 いっしきさ
 ほろり
 我竟



為奥

雪堂画

木のらぶら

もろ
 白や

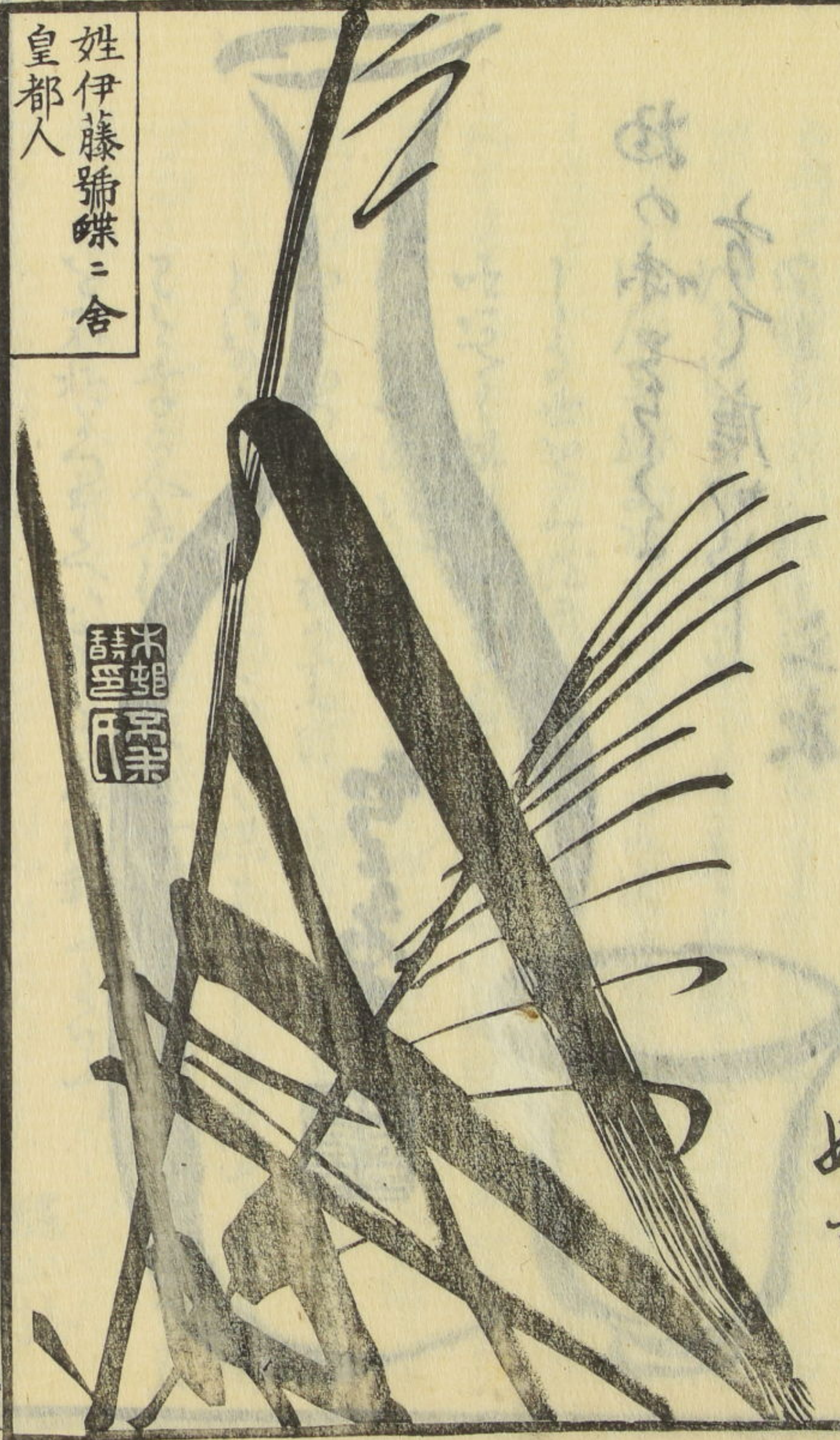
おほろ月

姓森氏号白露齋播州
 姫府龍野町二丁目白
 銀屋儀平隱居



秋の萩はねをかきしや角の好古

好古



姓伊藤號蝶ニ舎
皇都人

木野
氏

五ノ六上

ふめを

折れ

少の

白らん

通



六
百

姓谷氏蕙圃齋鶴雪
并屋忠兵衛将安治郎
俳号斗舛住東武神田
横大工街

斗舛男ハ菜

斗舛

崇山子賛

此の如く田舎の如くは誰かの見えざる家も亦く食も
 かりきりしおらぬをいふをいふをいふをいふをいふを
 みるお其れはのちの鬼のこゝろをいふをいふをいふを
 うらむの如くはらぬをいふをいふをいふをいふをいふを
 らす対の如くはらぬをいふをいふをいふをいふをいふを
 見るをいふをいふをいふをいふをいふをいふをいふを
 の用なりとて眼鼻舌身をいふをいふをいふをいふを
 あらざる混沌死と人相ありぬる金人の如くあり

崇山子此語をいふる人として

此の如く又此の如く 這人述

這人姓姓代通補朝
 伍号住佐齋文化西寅
 九月二日卒享年四
 五備前岡山人

常奇畫



不—合也

此亦唐津

空



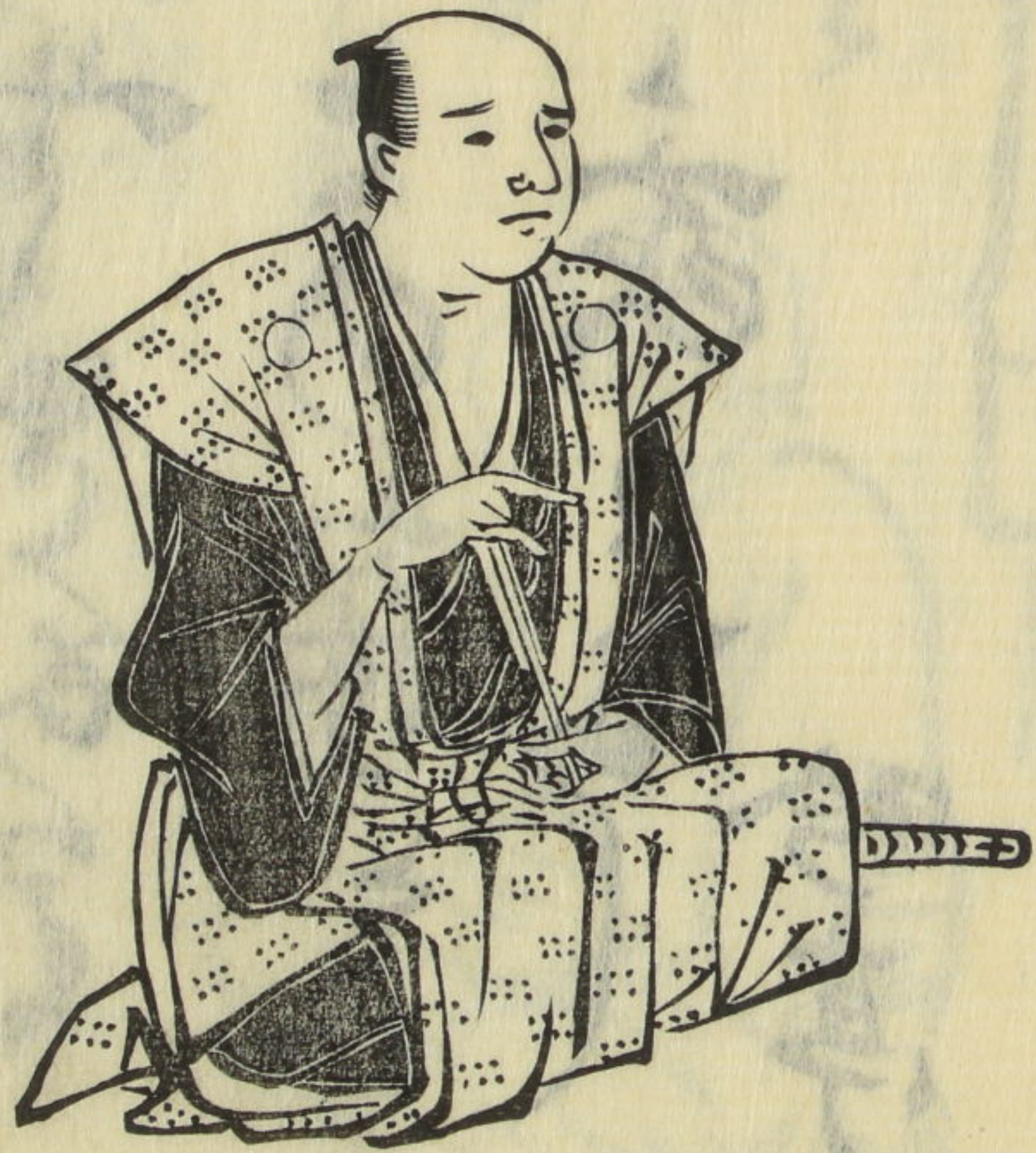
此亦唐津

凹凸房五雲



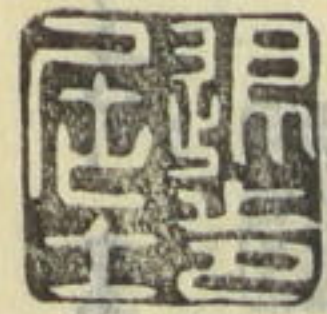
姓水野氏肥前唐津人

浪華西横堀敷津之邊
法華八太郎号東也園



空哉華題又破画
古今事蹟
甲山人
心離蜂
驚鈴也
人ふや
白毛
古以

姓壽山氏肥前唐津人
俳名退步



西肥唐津
年三史
笑月琴

相
あ
秋
あ

六何子乃寫

姓山本名一致号六
 甲山人俗称八郎左
 衛門住于摄州灘住
 吉吟亭恆居嗜酒學
 空海筆蹟又好画

おのゝ
 の
 家
 又
 吟亭

俗稱伊勢屋新兵衛住
 于江戸浅草山之宿町



松星

高松侯京都邸官姓向井
名由豫字郡助号兼心堂

河豚屋 漫遊兼心堂假祝識
ついでつゝの廣きと河津の淵もいかになまぬるの浦に
指すふりたるたねに市は潮高きと浪ののいろくは
おぼろの中にも河豚ては物のちをまねのあくららうまは
えいふれよまふたらん睡るあうまひーいあまも妻
をや欺まん唇のあつきもーおろあはいうに涙み
必死のおーまゝのあつきもーおろあはいうに涙み
まゝとやうは ままもうんねもあまの妻ーいあくららうまは
ゆく世の中なれハ蒜塩ーとや和らひーをみれもあま
なつむらひ大粒の村松曹出高うまは横ばいいたる飯の
ふゆとあゝんまゝの手物乃けは老といそれれと
まのさゝをまのくちまゝと

戸にやうれるまもあまのまゝと

侯里あまの御けのま

打戎ぬま

月雄



姓永見俗称伊兵衛撰
易伊丹外城産今在于
東都大圓

姓富士田字半兵衛号
 鯉齋住于東都大傳馬街

忍しの代しろ女め大おほ飯いひ
 梅うめここる
 直也



葛羅姓本城俗称惣九
 郎皇都六条東洞院之
 産今在于東都大圓

斗と水みづ麿こ子こ
 高たかの
 かくかくの
 元もとせ
 毛け

かかつつ



姓山崎俗称喜代治号
 世界庵信易高井辨田
 人在于東都

東山新書の
 風流
 可忍
 抄巻
 巻

近來



伊勢おかしすの遠く矢
 野之産姓高山俗称次
 郎八今在于東都大圓

於此可程と帝
 鹿好
 來



讃州香川郡笠井
 邑高橋宇兵衛

ふらふらわらわら
 糸を
 あけ切
 糸
 部

木端



姓佐藤字伊兵衛号貫
 齋住于東都大傳馬街

甲子也
 糸の
 紺尾の
 大根
 女



讚州高松築地
柴田甚右衛門

閑菴

字

人

りあふ

すまのり



新州善大寺地田五八
掛本末

静庵

あけやほ

長

す

ら

竹

心長



姓山崎号雪圃亭
遠州掛川飛鳥人

山和号五...

可厚

西好也

系

まのれ

ひろ家



姓松木字勝兵衛
信州善光寺蚊田庄人

五ノ七十五

一慶

浦

ひろ家

たけのり



号梅守庵加賀金澤
寶来寺現住

社長士竹以其道来其
道姓佐生名晃胤守恒
濟号一致亭俗稱近江
屋由兵衛住于大坂立
賣堀北側高橋西

かたはら
あまの

あまの
其道



子健



東清下谷村
官齋跡平六郎封十
松林并遊志剛傳又亦

恋のしるし
弟も花さけ

美の舞

林のくさくさ
久末のまき



白梅
尺女

姓新井號忍岡軒又在
宥齋俗稱平兵衛住于
東都下谷仲町

人
の
や
の
雪



志都

東都
雪旦齋

八千坊三世石井氏作
州人來居于浪華吳服
橋東五竹菴門人

か
の
に
の
の
の
の



佐治孔仙

予也ハ家のかるるるれ 予も
 何とあふあふりあふり 若也
 けあふりあふりあふり 大獲
 隣のあふりあふりあふり 五さ
 冷くとあふりあふりあふり 砥を
 示くハあふりあふりあふり 榊系
 どのあふりあふりあふり 岳路
 世をほろろろろろろろろ 飯祥
 文のあふりあふりあふりあふり 聖
 あふりあふりあふりあふり 多
 弓杖ハあふりあふりあふり 意
 どのあふりあふりあふりあふり 獲



山をれひとつあふりあふり 素
 飯具のまねくこすのる 至
 あつたつたれあふりあふり 祥
 わすみのあふりあふりあふり 輪
 大再つとつととととととと 旨
 一万りの回向するま 聖
 花の人多くあふりあふり 獲
 一つのあふりあふりあふり 意
 是のあふりあふりあふり 至
 今昔這出るあふりあふり 業
 八十九
 是のあふりあふりあふり 祥



猶の系をあらはれハ
小まきよ
 ひをむたぬ秋の七くさ
 文月の月と心と秋の七くさ
 了世の谷戸、流播り
 多の白ひ春のらん
経義
 心を採たしと志し
 け糸を巻く、りさひんを
 油のあはれふさきなりく
 何人か強きまゝに及かり
 流るれ田うきふり
 世の中をゆく、花は伝ふ
 跡もたうりぬ、あやのちぬ
 聖 善 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫 孫



五ノ七十九

井上氏号松翁又号朱
 樹又号琵琶園稱專庵
 尾州名古屋人世業医
 士朗嘗學俳諧於曉臺
 既到佳境蕉門出藍人
 性温厚重交四方俳士
 門人以百數世人莫不
 稱其德又好文雅善四
 弦七十有餘歲而没于
 時文化九壬申五月十
 六日



士朗
 不二三
 不二三

筑安宮寄

十里松
海中を

旭江空



森子もつふ谷 旅音

あねつりてまのこ

とゆくもあつめ 梅堂

うちかみはしき

ふらちにおらぬ 友松

花暖になら

子規まゝ

ふあつふあかれば 樫村

とのむれさくや

むらたに捨少女

其杯



とこまも馬あり

一巻

ま乃月

なつねさくや

とらねるなつこ

まのめさくやのこ

ふあてにりえ

まのめさくやのこ

耳よめはこ

こころよおのれ

すゝねのや

ふたのえうめ

之月やゆめ

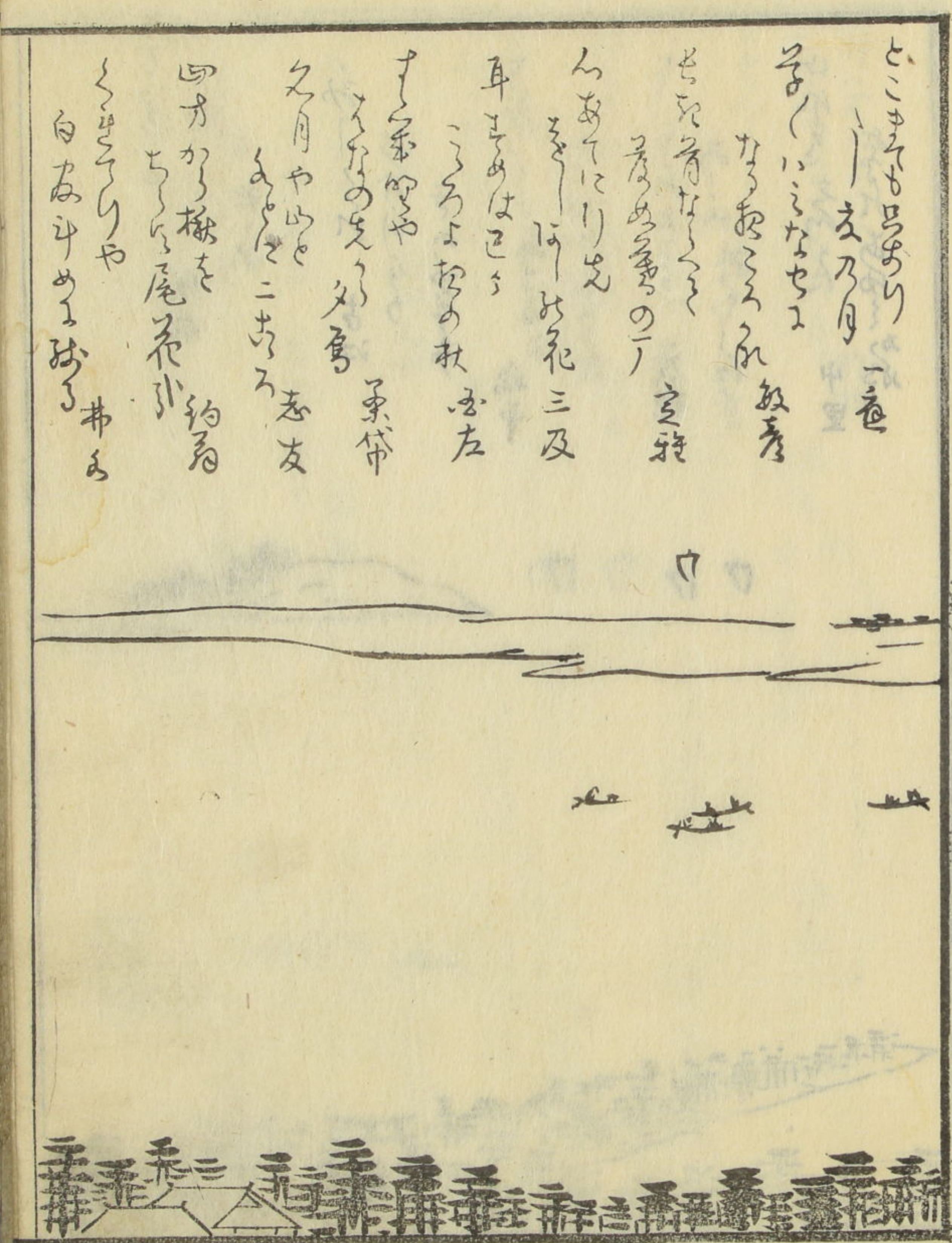
ふたのえうめ

四方かき梅を

ちの尾花小

くまのりや

白友斗めさく



えつあも

一むくの 既成

月夜うれ

みーくれ 吉江

おちりのうら

子のかきま

ちゆくとあまのよ 稲平

かぶ小せうた

さーくれ上るも 茂推

あーや おちりう

いれをまのた 中里

おれあゆか



ウウケ



片花いふと

なつと冬あゆ

昨非

まろくしゆ

五真

けしんねの

いふゆえとせむ 徳長

アムヤや破機

ねるを成大るに 謙造

乃ふるお日かぬ

おいすてに

六合

てあめゆかとなつと

ほろあめいふ

石牙

はるはなつおさくら



椿坐 德田氏号東竹菴俗稱
長兵衛勢州山人

釣翁 氏原氏号望海舍
攝州難波村人

友松 羽州秋田人
野松門人

植村 甲州東郡薩八幡
祠官某氏

一應 秋氏号月照庵住于
尾州知多郡野間邑

定雅 号椿亭居于平安下
川原俳仙堂

三及 及川氏号誕坊賴三守
奥州仙臺氣仙泥人

國左 号木立菴俗稱典三兵衛
武州玉川辺細山住

茶保 号八乘菴武州川壽
九海屋十次郎隱居

志友 出羽秋田郡赤石邑
加賀屋哥之助

既成 濱松氏俗稱久松羽州
秋田郡大館商家

古江 俗稱世並屋一即左工門
藝州廣嶋人

茂推 藤井氏名正容讚岐人
來在于京師

少里 信州善光寺權坐俗稱
田中助右工門

昨非 備前岡山彦藩中
野上氏

五貢 羽州酒田人

雅長 武州崎玉郡八条領木曾根
村住大山喜多右工門

其杯 武州崎玉郡八条領木曾根
村住大山忠五郎

弗水 金谷氏豐後州高田人
号靜齋

笳音 井狩氏俗稱佐吉
江州八幡人

以下古人

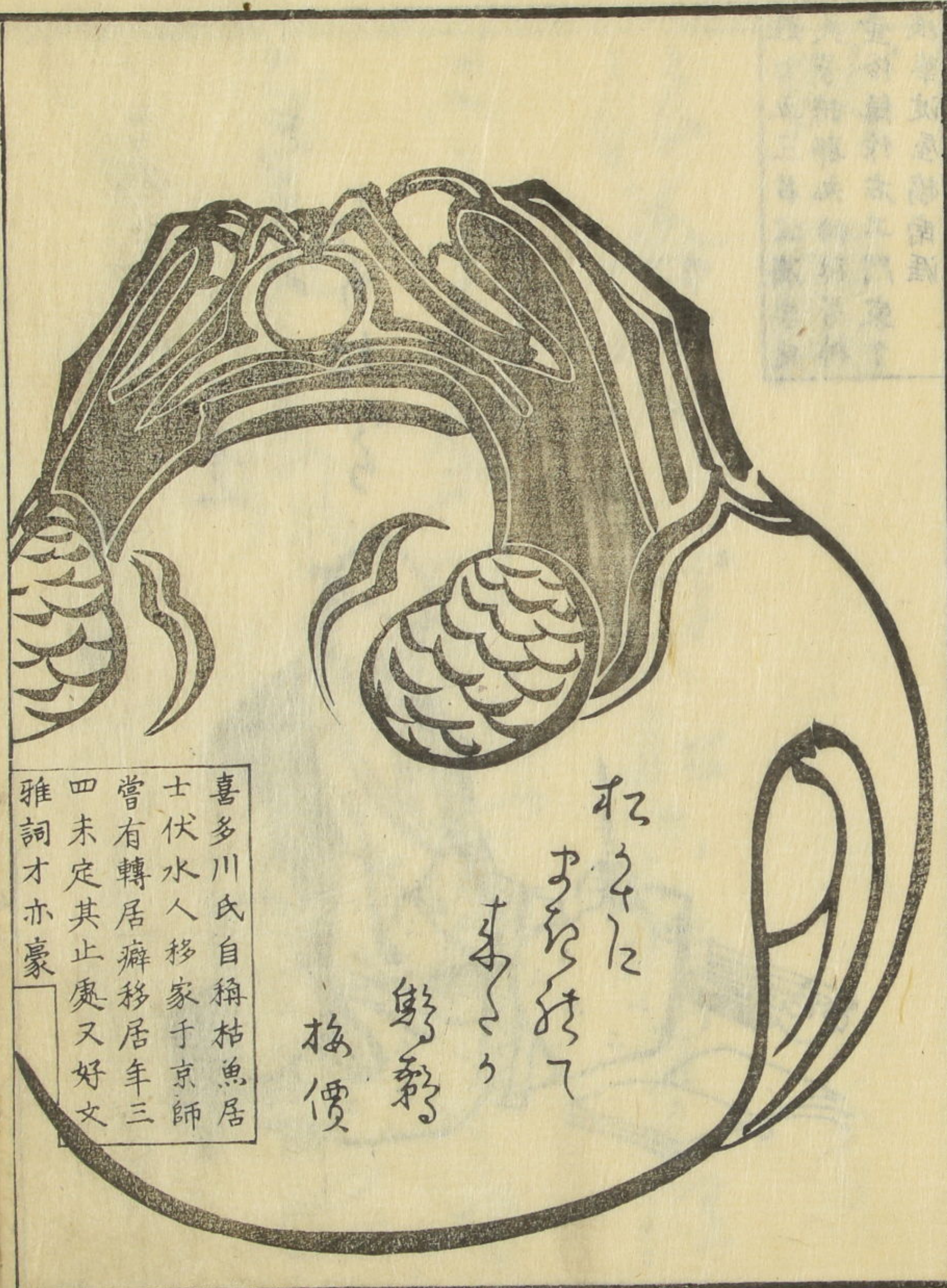
騏道 木村氏号青雲居俗稱新介文化七
庚午正月一日没江州大津人

六合 藝州廣嶋人

石牙 早川氏号落葉庵甲州人
寛政九丁巳十一月死

敏彦 藝州彦藩中俗稱
児玉小平次

稻馬 野間氏俗稱藤右工門
藝州廣嶋中野村人



喜多川氏自稱枯魚居
士伏水人移家于京師
嘗有轉居癖移居年三
四未定其止處又好文
雅詞才亦豪

和
おのり
たきり

梅價

姓七五三名公濟字延
 美号柿耶丸结社号柿
 壺俗稱作右工門家于
 浪華淀屋橋南涯

との花乃

生かたるとま

ち〜あ

ちやにち

とふ



跋



浪華の清津、舟に於て里を理

こり、里よ、梨、眼、不、毫、か、き、り、下、せ

か、る、し、を、風、流、す、く、之、り、也

い、み、し、や、ふ、り、禮、を、受、け、得、り

以ふりて入るる乃由
續きしめし此帖の比
ある梓乃淀川長
楳乃乾ぼくのあふ
あふしるる聲

呼あつるは長馬米
やうきあ
やうきあ

士甲夏 二五五卷

樽堂



本朝の世に
 一人の如く
 命を尽す
 浪華雪峰永井大次郎
 浪華雪峰永井大次郎

五編ノ跋二

画工 浪華雪峰永井大次郎

書肆 浪華獻可堂鹿嶋忠兵衛

同 平安橋栄堂勝田善助

同 平安懷玉堂野田治兵衛

文化十癸酉歳春三月 柳壺蔵版

